

平成 31 年度国際文化交流学科一般入試（中期日程） 小論文 出題意図

I 動物行動学者でエッセイストとしても知られる日高敏隆氏の著作『科学と神は必ずしも対立しない』からの出題。フランス人と日本人の比較を通じて、著者独自の科学論、宗教論が展開されている。読みやすい文章ではあるが、解答をおこなうにあたっては、著者のロジックを明確に読み解いたうえで、自らの言葉でそれを表現する能力が求められる。

II 地方自治学の第一人者である大森彌氏の著作『田園回帰の意味するもの——共生の思想と地域の自治』から出題した。地方と東京圏とを対比することにより、地方創生と地域創生との考え方の違いが論理的に示されている。解答にあたり著者の論理展開を読み解く能力と、著者の提起する地方創生の課題を自分の言葉で記述する能力とが求められる。